

チューリッヒ日本人学校 日本語補習校の概要

1. 目的

補習校は、日本語学習を希望する日本及び他国籍の子女で、全日制日本人学校に通学していない児童・生徒に対し日本語の補習教育を行うことを目的とする。

2. めざす子ども像

- ・健康で明るく、安全に心がける子ども
- ・遊びにすすんで入り、仲良く遊べる子ども
- ・目標をもって意欲的に学習に励む子ども
- ・互いに協力し合い、思いやりのある子ども

3. 各部の指導目標と留意事項

(1) 幼稚部

□指導目標

幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成する。

□留意事項

- ・幼児期にふさわしい生活が展開されるように配慮する。
- ・遊びを通しての指導を中心として、幼稚園教育のねらいが総合的に達成されるようにする。
- ・幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにする。
- ・幼稚園教育の内容については、幼稚園修了までに育つことが期待される生きる力の基礎となる心情・意欲・態度などを幼児の発達の側面からとらえる。
①健康 ②環境 ③人間関係 ④言葉 ⑤表現
- ・上記の①～⑤の領域の内容をふまえ、さらに幼児の実態に応じて指導内容を達成し、効果的な環境と指導方法の設定・工夫に努める。

(2) 小学部・中学部

□小学部指導目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

□中学部指導目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

□留意事項

- ・各学年の児童・生徒の実態の把握に努める。(国語学習の理解や表現、言語事項に関わる一人一人の学力目標を把握して、指導計画や指導方法の工夫に生かす。)
- ・各学年の国語科指導計画の全体を見通して、指導内容の重点化・精選化を図り、効率的な指導方法を工夫する。
- ・各単元の指導に当たっては、事前に教材研究を行い、指導の工夫に努める。
- ・児童生徒が意欲的に学習に取り組むように、国語学習に対する興味・関心を喚起させる工夫をする。
- ・学習資料の効果的な使用方法を工夫する。
- ・保護者との連携を深め指導の効率を図る。

(3) 高等部

□指導目標

国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成するとともに、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

□留意事項

- ・生徒の実態の把握に努める。(国語学習の理解や表現、言語事項に関わる一人一人の学力目標を把握して、指導計画や指導方法の工夫に生かす。)
- ・国語科指導計画の全体を見通して、指導内容の重点化・精選化を図り、効率的な指導方法を工夫する。
- ・各単元の指導に当たっては、事前に教材研究を行い、指導の工夫に努める。
- ・生徒が意欲的に学習に取り組むように、国語学習に対する興味・関心を喚起させる工夫をする。
- ・学習資料の効果的な使用方法を工夫する。

(4) 国際部

□指導目標

日本語の基礎、基本を正しく理解し、表現できる能力を育てるとともに日本語を正しく使える態度を育てる。

□留意事項

- ・子ども一人一人の実態をとらえ、それに即した指導計画を立てる。
- ・日本語学習に興味や関心をもたせるように、指導法の工夫に努める。
- ・学習の効率化を目指し、指導用資料等の収集とその活用に努める。
- ・保護者との連携を図り、指導の効率化に努める。